



今年度の各学年の目指す子ども像

園の教育目標を「自然を愛し、生き生きと活動する子ども」として3年目を迎え、～子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っ直ぐ～を合言葉に、子どもを中心とした教育を推し進めていきます。この目標の下に、各学年も1年間で育てたい目標を具体化し、設定していますので、保護者の皆様のご理解とご支援をいただき、ご家庭と幼稚園の両方で目指す子どもを育てたいと思います。

○たんぽぽ

(年間目標) わらべ歌や体操、身近な素材に触れる活動を親子で親しむ。

(1学期) 草花や虫に触れ、身近な自然に興味を持つ。

○年少

(年間目標) 先生や友達に親しみをもち、安心してのびのびと園生活を送る。

(1学期) 基本的な身の回りのことを知り、教師と一緒にしようとする。

- ・親と離れ先生や友達に親しむ、安心して園生活を送る。
- ・自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。
- ・身近な自然のことを知り、触れようとする。

○年中

(年間目標) 人との関わりを喜びながら身近な環境や活動に興味を持ち、遊びを広げていく。

(1学期) 喜んで登園し、自分の好きな遊びを見つけて、教師や友達と思い切り楽しむ。

- ・園内や周辺の身近な自然(土・泥・水・草花・虫・芋・野菜の栽培)に十分に触れ、楽しんでいく。

○年長

(年間目標) 頭・体・心を十分に動かし、頑張り抜く気持ちを育て、更なる意欲を身につけていく。

(1学期) 年長になったことを喜び、意欲的に活動に取り組む。

- ・新しい先生や友達に親しみ自分を出していく。
- ・集団生活のけじめをつける。
(話を聞く、自分で考える。)
- ・自分の経験したことや自分の気持ちを言葉にして表現する。
- ・稲の世話をしながら、自分の成長と重ね合わせていく。

熊本地震の被害についてお知らせください

熊本を中心に震度7の大地震が起きましたが、保護の皆様方、ご親族の方、並びに家屋の方はご無事でしたか? もし、何かあれば、お知らせください。

今年のゴールデンウィークは?

今年のゴールデンウィークは、土曜日も含めると3連休→平日→3連休→平日→2連休となっています。変則的な連休となるために、子どもの生活のリズムが狂う恐れがあります。こういう変則的な連休が続く場合は、効果的な保育指導が期待できないと考えられ、2日を13日の創立記念日の代休、6日を休園日とし都合**10連休**としました。やっと幼稚園に慣れてきた年少さんが、10連休によって、再び家族の方から離れ難くなる様子が想像できますが、それでも、後々の教育効果を考えると連休にした方がよいという結論に達しての措置です。ご家庭で、有意義な連休の過ごし方を考えてみましょう。

連休として休んだ代わりに、13日の創立記念日は学園の休日となっていますが、登園日とします。他の1日は、1学期の終園式を遅らせたり、2学期始園式を早めたりして対応します。3学期も卒園式や終園式を昨年度よりも遅い期日に実施することで、昨年度よりも7日、保育日数が多くなる計算です。

- ・年少 昨年度180日 → 今年度187日
- ・年中 昨年度180日 → 今年度187日
- ・年長 昨年度184日 → 今年度191日

年長さん恒例の竹取物語

雨上がりの晴れた日の22日(金)に、年長さん恒例のタケノコ掘りがありました。事前に、余分な竹の除去作業をしていたので、昨年よりもタケノコが顔を覗かせていたのがよく分かります。少し伸び過ぎたのもありましたが、子どもたちが掘るには丁度良い伸びで、5~6人1グループで協力して掘りました。子どもたちは、初めての経験とあって、先生の話をよく聞いて、みんなで力を合わせて掘り出します。最初は粘土質の土も簡単に掘れましたが、タケノコの根っこが地下茎のところにあるために、最後のひと掘りに苦労したようです。年長全員で掘ったので15~16本掘り出しました。竹の皮調べでは、興味を持って皮をむき、多いところで、388枚もあったようです。25日(木)のタケノコご飯に備えて、包丁を

用いて、子どもたちは喜々としてタケノコを細かく切る活動をしました。園児でも、やればできるのです。

